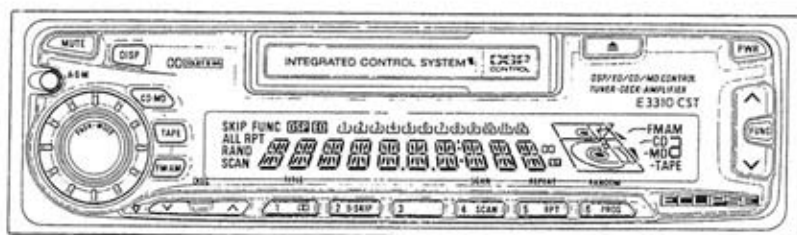


ECLIPSE

マルチコントロール カセットメインユニット

E3310CST

取扱説明書



お買い上げいただき、ありがとうございます。

正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。

また、お読みになった後も、必要なときにすぐご覧になれるよう大切に保管してください。

FUJITSU TEN

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- 本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車では使用しないでください。
火災や誤動作などの原因となります。
- 自動車の運転中に音量調節等の操作をしないでください。
このような操作は、必ず安全な場所に車を停止させてから行ってください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズをご使用ください。
規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。



警告

- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
そのままご使用になると事故、火災、感電の原因となります。
- 自動車の運転中にカセット等の交換をしないでください。
事故などの原因となります。
- 包装材のビニール袋をかぶらないでください。
大きな事故や窒息死の原因となります。

 注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞える程度でご使用ください。

車外の音が聞えない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

- カセットテープ挿入口に異物を入れないでください。

火災や感電の原因となることがあります。

- カセットテープや挿入口に手や指を入れないでください。

けがの原因となることがあります。

- 本機を車載用として以外は使用しないでください。

感電やけがの原因となることがあります。

- 長時間歪んだ状態で使用しないでください。

スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。

目次

使用上のご注意.....	7
本機をお使いになるうえでのお願い.....	7
ヘッドのクリーニングについて.....	7
カセットテープの取り扱いについて.....	8
各部の名称.....	9
基本操作.....	10
電源を入れる/切る.....	10
カセットを聞く.....	11
ラジオを聞く.....	11
音量を調節する.....	12
時計を表示させる.....	12
本機をリセットする.....	12
その他.....	13
カセット部の操作.....	16
カセットを聞く.....	16
ドルビー(B)NRで録音されたテープを使用する.....	16
早送り/巻き戻しする.....	17
無録音部分を自動的に早送りする.....	17
曲の冒頭を演奏する(SCAN).....	17
繰り返し演奏する(REPEAT).....	18
テープ走行を反転させる(PROGRAM).....	18
自動選曲する(APS).....	19
カセットテープを取り出す.....	20
チューナー部の操作.....	21
自動的に放送局を記憶させる.....	21
手動で放送局を記憶させる.....	22
記憶させた放送局を確認する.....	23
放送局名を表示する.....	24
FM放送について.....	25

時計部の操作.....	28
時刻を合わせる	28
リモコンの操作.....	29
使用上の注意.....	29
清掃について	29
電源を入れる/切る	30
音量を調節する	30
機能を切り換える	30
チューナ利用時の操作	31
カセット利用時の操作	32
MD、CD利用時の操作	33
TV利用時の操作	34
電池を交換する	35
(別売) CDオートチェンジャー (CDプレーヤ) を 接続したときの操作.....	37
基本操作	37
インフォメーションが点滅する (トラブルシューティング).....	40
(別売) MDチェンジャーを接続したときの操作.....	42
基本操作	42
タイトル名/曲名を表示する	45
(別売) DSP/EQを接続したときの操作.....	46
DSPの操作	46
EQの操作	50
困ったときは	53
仕様について.....	55
アフターサービスについて.....	56

◆使用上のご注意

＜正しい取り扱いとお手入れによって、いつまでも最良の状態でお楽しみください。＞

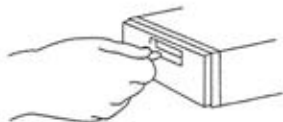
本機をお使いになるうえでのお願い

◎安全のため運転中の音量は、車外の音が聞こえる範囲でお楽しみください。



◎再生中の異常に注意してください。

再生中に急に音の調子が変わったり、その他異常を感じたときはただちにイジェクト・ボタンを押して再生を停止してください。



◎カセットテープ差し込み口に異物を入れないでください。

コインなどの異物を入れないよう、特にお子さまのいたずらに注意してください。



◎車内の温度に気をつけてください。

極寒や酷暑のとき、とくに夏期は車内の温度が大変高くなることがありますので、車内の換気に注意し、適温で使用してください。



◎湿気に注意してください。

本機内に水が入ると思わぬ故障の原因になります。とくに洗車時には注意してください。

ヘッドのクリーニングについて

ヘッドは音を取り出す大切な部分です。この部分が汚れてくると、音質の劣化や雑音が出たりします。いつもよい音を楽しむため、月に1回（約20時間ご使用ごと）は別売のクリーニングカセット（湿式）でヘッドをクリーニングしてください。なおご使用に際しては、クリーニングカセットの説明書をよくお読みください。

カセットテープの取り扱いについて

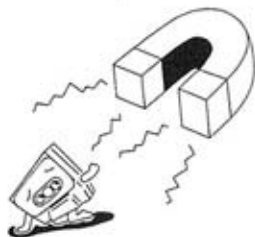
- ◆C-120(120分用)のテープは極めて薄いため、テープが伸びたり、テープ巻き込みなど故障の原因となりますので、ご使用はさせていただきます。

固いリールまたは
たるんだテープの修正のしかた

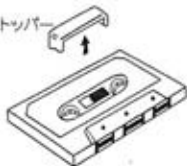


たるんだテープを
鉛筆で締め直す

紙やラベルなどを貼らない



ストッパー



- ◆カセットテープの使用回数が多くなると、テープの巻きかたが不揃いになって、リールが回りにくくなることがあります。これを使用すると、再生の途中でテープの走行が反転することがあります。これはテープがとまって終端検出装置が作動するためで故障ではありません。このようなカセットテープは、回りにくいリールからテープを引き出し、反対側のリールに正しく巻き直してからご使用ください。

- ◆たるんだテープも巻き込みなどの故障の原因になります。この場合はテープのたるみを締め直してからお使いください。

- ◆ラベルがはがれかかっているときは、はり直してください。そのまま使用しますとイジェクト不良など故障の原因になります。

- ◆カセットテープに紙やラベルなどを貼らないでください。カセットテープの挿入困難、排出不完全になることがあります。

- ◆カセットテープは磁器のあるものの近くには置かないで下さい。音質が悪くなります。またカセットテープは直射日光にあてないでください。高温、多湿の場所もさけてください。

- ◆ストッパー(たるみ止め)をご使用の場合、ストッパーを入れたままカセットテープを挿入しないよう注意してください。

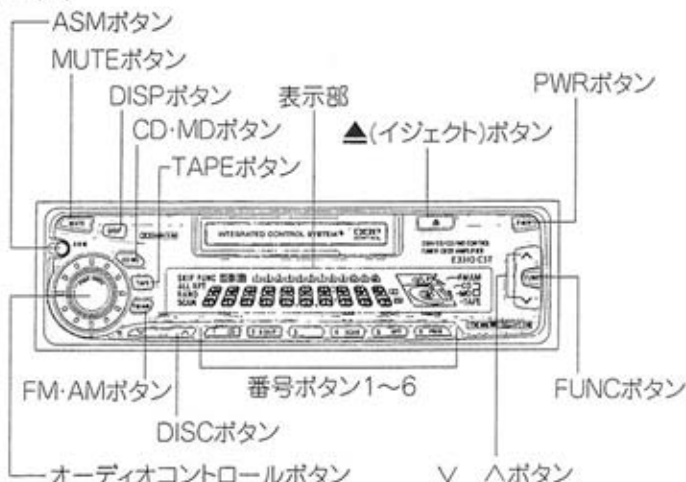
- ◆テープ面に触れたり、引き出したりしないでください。またほこりがテープにつかないよう、ケースに入れて保管してください。

◆各部の名称

本機のおもなボタンを紹介します。

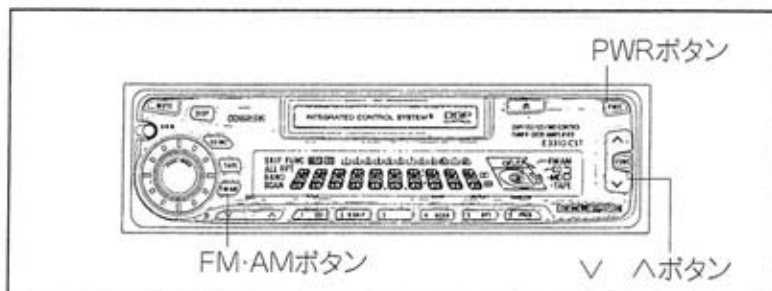
詳細は、各操作の説明を参照してください。(カセットの操作16ページ、チューナの操作21ページ、時計の操作28ページ)

本機正面



※ドルビーノイズリダクションはドルビーラバトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBY及びダブルD記号  はドルビーラバトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。

◆基本操作



本機をご利用いただくための基本的な操作について説明します。
詳しくは、機能別の説明を参照してください。

■電源を入れる／切る

以下の手順で電源を入れたり、切ったりします。

1. [PWR]ボタンを押す

ボタンを押すとスタンバイ状態となり、ボタンを長めに(2秒以上)押すとOFF状態になります。

●注意●

欧州車等、一部ACCポジションの無い車両の場合にはエンジンを切ってもOFFにはなりません(そのまま放置するとバッテリーがりの原因となります)。

必ず上記の操作でOFF(2秒以上押す)してください。

■カセットを聞く

以下の手順でカセットを聞きます。

1. 挿入口にカセットテープを挿入する

自動的にカセットテープを引き込んで、演奏を開始します。



ワンポイント

テープ露出面を右側にして差し込みます。

テープ片面の再生が終わると自動的に反対面の再生に切り換わります。

■ラジオを聞く

1. [FM・AM]ボタンを押す

チューナの操作に切り換わります。

2. [FM・AM]ボタンを押して、FM/AMを切り換える

ボタンを押すごとにFM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。

3. [V H]ボタンを押して、放送局を選択する

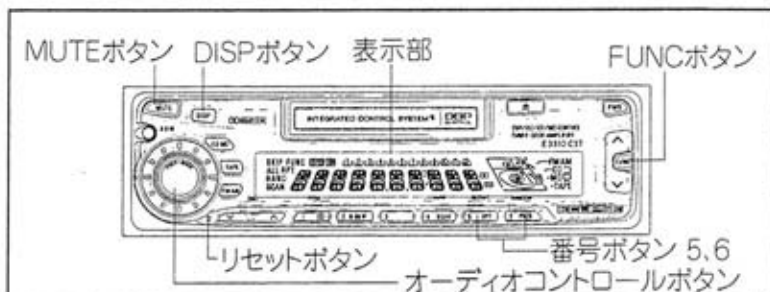
[V H]ボタンを押すと手動で、長めに押すと自動的に放送局を探します。

H.....周波数の高いほうへ選局

V.....周波数の低いほうへ選局

ワンポイント

放送局を記憶させてある場合は[番号ボタン1~6]のいずれかを押して、放送局を直接選択できます。(手動で放送局を記憶させる22ページ参照)



■音量を調節する

1. [オーディオコントロール]ボタンを左右に回す
左に回すと音量が小さくなり、右に回すと大きくなります。

ワンポイント

瞬時に音量を小さくしたいときは、[MUTE]ボタンを押します。もう一度[MUTE]ボタンを押すか、[オーディオコントロール]ボタンを右に回すとMUTE解除されます。

■時計を表示させる

1. [DISP]ボタンを押して、時計が表示されるまで切り換える
時計調整については、28ページを参照してください。

■本機をリセットする

1. 表示部が正しく表示されなかったり、本機が正しく動作しないときは、[リセットボタン]を押す
ペン先などで押してください。

ワンポイント

リセットすると、本機の記憶(時計やラジオのプリセットなど)が消去されますので、もう一度、セットしなおしてください。

■その他

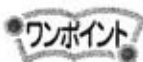
その他、本機には次のような機能があります。

[FUNC]ボタンを押して、ファンクションモードに切り換えてから操作します。(ファンクションモード中は「FUNC」表示が点灯します) また、操作が終了したら再度[FUNC]ボタンを押してファンクションモードをOFFしてください。(「FUNC」表示が消えたことを確認してください)

▼ガイドトーン(操作音)を解除

お買い求めになったときは、本機を操作すると「ピッ」というガイドトーンがなるように設定されています。次の手順でガイドトーンを解除できます。

1. 電源が入っていることを確認する
2. [FUNC]ボタンを押す
3. 「BEEP OFF」と表示されるまで[番号ボタン6]を1秒以上で押す



再びガイドトーンがなるように設定するときは、同様の操作を行い「BEEP ON」と表示させます。

▼デモンストレーション機能(販売店様向け機能)

お買い求めになったときは、ご使用になっているモードがお買い求め(取付)直後は、本機および組合せの機器が持っている機能を一定の間隔で表示(デモンストレーション)するように設定されています。

次の手順で表示の設定/解除を行います。

1. 電源が入っていることを確認する
2. [FUNC]ボタンを押す
3. [番号ボタン6]を押す

設定がONになっているときは解除され、OFFになっているときはONになります。



チューナモード時

周波数表示→放送局名表示→時計表示

カセット、TVモード時

状態表示→時計表示

CDプレーヤ、CDチェンジャー、MDプレーヤ、
MDチェンジャー

TRACK、経過時間表示→タイトル表示→時計表示

▼サブウーファの位相切り換えをする

以下の手順で位相を切り換えます。

1. [FUNC]ボタンを押す
2. [番号ボタン5]を押す

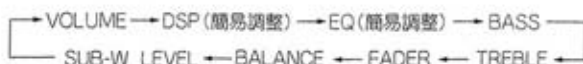
フルレンジスピーカとウーファとの音のつながりを位相を切り換えることにより改善できます。

位相を切り換えて違和感なく音のつながる方を選択してください。

▼出力レベルを調整する

以下の手順で出力レベルを調整します。

1. [オーディオコントロール]ボタンを押すごとにモードを次のように切り換える



2. [オーディオコントロール]ボタンを左右に回して調整する
 右.....強調する
 左.....弱める

ワンポイント

- ・ただし、オーディオコントロールモード表示無し時からボタン操作された場合のみ、VOLUMEモードからモードを開始します。
- ・DSP/EQ接続時でDSP ON、DSP/EQ ONの状態ではFADERの調整はできません。
- ・DSP/EQの簡易調整は、DSP/EQ接続時のみ可能です。また、DSP/EQの詳細で調整すると、簡易調整は飛ばされます。(46ページ参照)
- ・BASS、TREBLEは各ソース(AM、FM、カセット、CD、MD、TV)ごとの調整となります。
(DSPの未接続時のみ)

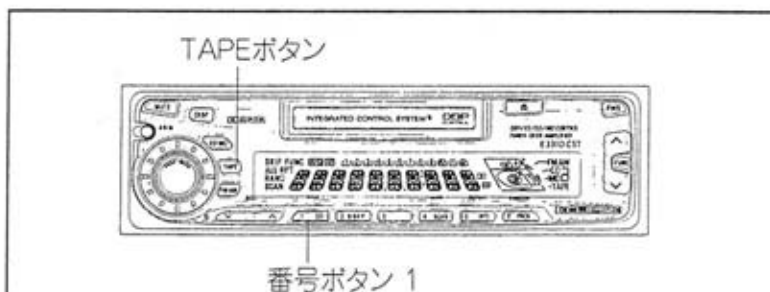
▼ラウドネスの設定

以下の手順で音のバランスを補正します。

[オーディオコントロール]ボタンを1秒以上で押すごとにON/OFFに切り換える。

ラウドネスを設定すると、一定のレベルで低音を強調します。小さな音量で聞くときにONにすると低/高音の不足感が補正されます。

◆カセット部の操作

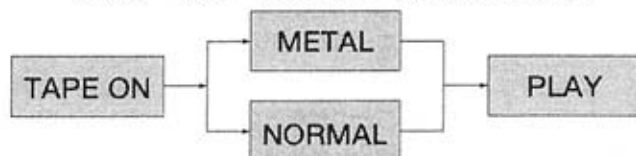


ここでの操作は、TAPEボタンを押してカセットモードに切り換えてから行ってください。ここでは、すでにカセットを装着していることを前提に説明します。

■カセットを聞く

1. [TAPE]ボタンを押す

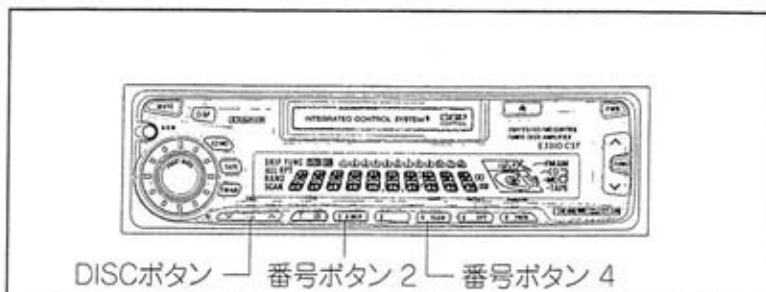
カセットモードに切り換わり、演奏が始まります。
カセットテープが装着されると表示部にメタルテープ
又はノーマルテープのメッセージが表示されます。



■ドルビー (B) NRで録音されたテープを使用する

1. [番号ボタン1]を押す

再度[番号ボタン1]を押すとOFFになります。



■早送り／巻き戻しする

カセットテープを早送り／巻き戻しします。

1. [DISC]ボタンを押す

△を押すと早送りし、▽を押すと巻き戻しします。
解除するときは、[DISC]ボタンを押してください。

■無録音部分を自動的に早送りする (B.SKIP)

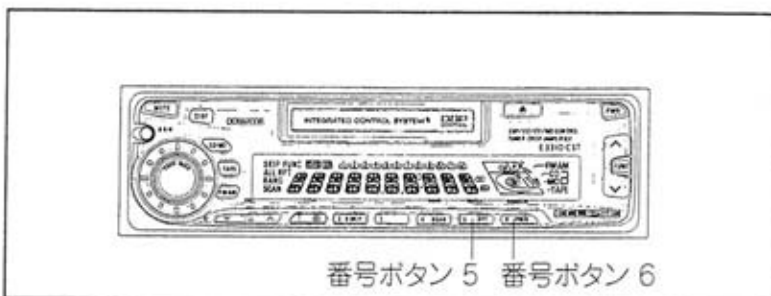
1. [番号ボタン 2]を押す

無録音部分が約15秒以上続いた場合次の曲の頭まで自動的に早送りします。
再度[番号ボタン 2]を押すと解除します。

■曲の冒頭を演奏する (SCAN^{スキャン})

1. [番号ボタン 4]を押す

演奏しているカセットテープ全曲の冒頭を12秒間ずつ演奏します。
再度[番号ボタン 4]を押すとOFFになります。



■ 繰り返し演奏する (REPEAT)^{リピート}

1. [番号ボタン 5]を押す

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

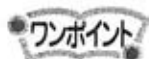
再度[番号ボタン5]を押すとOFFになります。

■ テープ走行を反転させる (PROGRAM)^{プログラム}

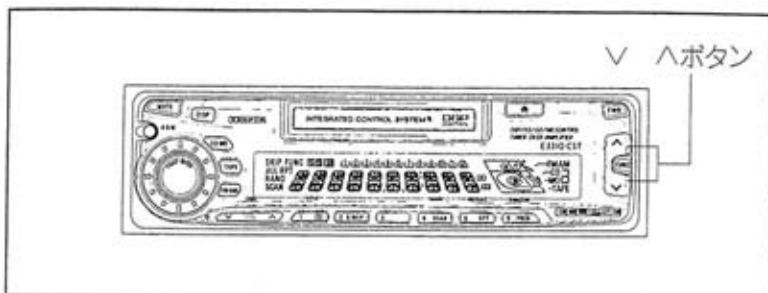
再生時、押すごとにテープ走行を反転させることができます。

1. [番号ボタン 6]を押す

カセット再生面を反転後、演奏を開始します。



「曲の冒頭を演奏する」、「繰り返し演奏する」を選択すると、表示部上部に「SCAN」、「RPT」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

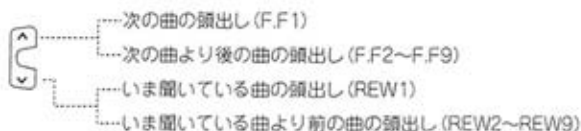
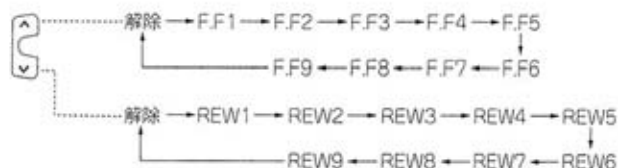


■自動選曲する (APS)

次の曲の頭出しや、いまお聞きになっている曲の頭出しができます。(最大9曲の自動選曲が可能です)

1. [V ^]ボタンを押す

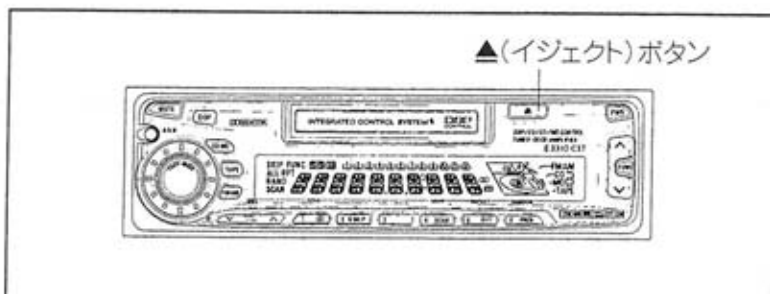
押すごとに次のように切り換わります。



●注意●

次のようなテープを使用すると自動選曲が正常に作動しないことがあります。

- ・ 雑音の多い録音テープ
- ・ 曲の初めと終りが明確でないテープ
- ・ 曲間が3秒以下のテープ
- ・ 録音レベルの低いテープ

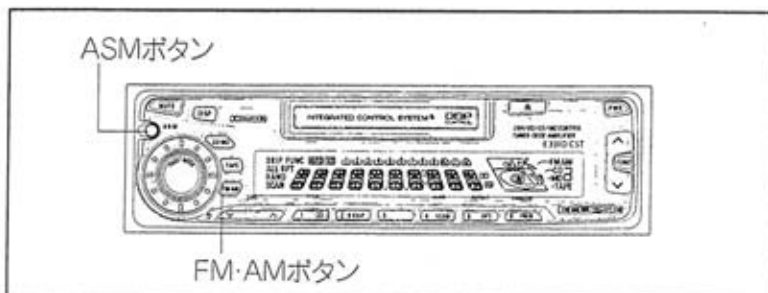


■カセットテープを取り出す

カセットテープが排出されます。

1. [▲(イジェクト)]ボタンを押す
カセットテープを取り出すときに押します。

◆チューナ部の操作



ここでの操作は、[FM・AM]ボタンを押して、チューナの操作に切り換えてから行ってください。

FM1、FM2、AM1、AM2に各6局ずつの合計24局が記憶できます。

■自動的に放送局を記憶させる

1. 「ASM ON」と表示されるまで[ASM]ボタンを押す

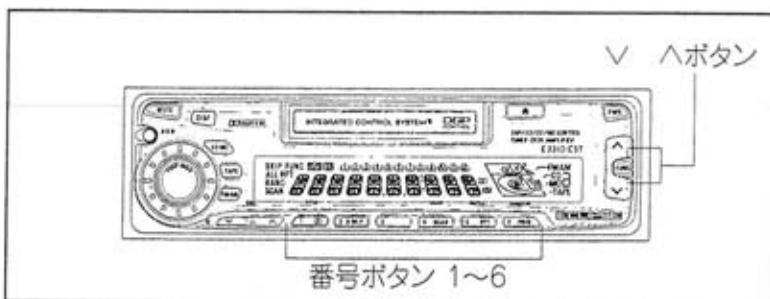
周波数の高い方へ自動的に選局を始めます。

受信電波の強い6局が周波数の低い方から高い方へ順に記憶されます。

「ASM END」と表示されると完了です。操作完了後は、最後に記憶された放送局を受信します。

ワンポイント

- ・ASMとは、オートステーションメモリーの略です。
- ・ご希望の放送がメモリーでできなかった場合は、手動で放送を選局することも可能です。



■手動で放送局を記憶させる

ASMでご希望の放送がメモリーできなかった場合など、手動で放送を選局する方法を説明します。

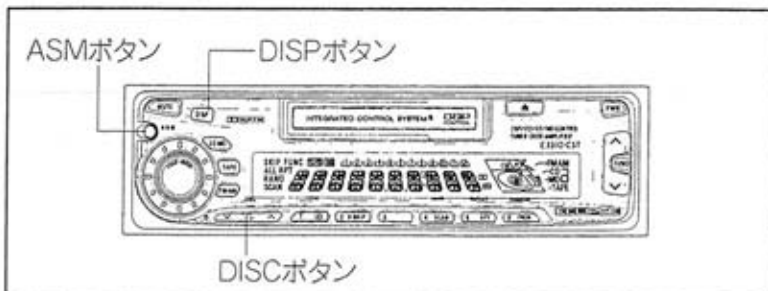
1. [V H]ボタンで記憶する周波数に合わせる
2. 「P1~6 MEMORY」と表示されるまで任意の
[番号ボタン 1~6]を押す
選択した放送局が[番号ボタン]に記憶されます。この
ボタンをプリセットボタンと呼びます。

ワンポイント

[番号ボタン]を押すと、プリセットした放送局を呼び出すことができます。

●注意●

車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断れたときおよびリセットボタンの操作をしたときは、ここの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。



■記憶させた放送局を確認する

1. [ASM]ボタンを押す

「P. SCAN」と表示され、記憶された放送局を5秒間ずつ受信します。

お好みの放送があれば、再度[ASM]ボタンを押すと解除されます。

■放送局名を表示する

番号ボタンに記憶させた周波数に対応する放送局名を表示させる機能です。

表示する放送局名は各地域で異なりますのでお使いのエリアを選択してください。

ワンポイント

選択したエリアにその周波数がない場合、放送局名は表示されません。

●注意●

エリアを選択することで、そのエリアでの周波数をプリセットするものではありません。

1. [DISC]ボタンを押す

押すごとに下表のようにエリアが切り換わります。
ご使用のエリアを選択してください。

エリア名	対象となる都道府県
HOKKAIDO	北海道
TOHOKU	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
KANTO	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京 神奈川、新潟、山梨、長野
CHUBU	岐阜、愛知、三重、富山、石川、福井 静岡
KINKI	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
CHUGOKU	鳥取、島根、岡山、広島、山口
SHIKOKU	徳島、香川、愛媛、高知
KYUSYU	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎 鹿児島、沖縄

2. [DISP]ボタンを放送局名が表示されるまで押す

放送局名が表示されます。

●注意●

以下の点にご注意ください。

- ・500W以下のAM放送局（中継局）および100W以下のFM放送局（中継局）のデータには対応していないため、放送局名が表示されません。
- ・設定されているエリア以外の放送局を受信したときは、放送局名が表示されない場合があります。
- ・同一エリアに複数の放送局があるときは、次のような表示をする場合があります。

IWATE/NHK……FM岩手とNHK FMの場合

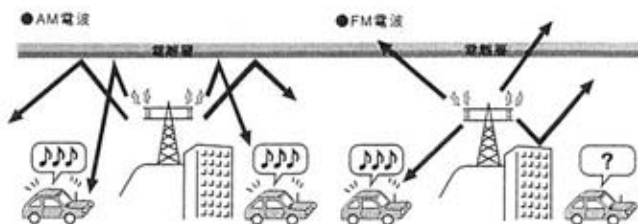
- ・放送局によっては、正式な名称を表示しないときがあります。（10文字まで表示します。）
- ・本機の放送局名データは、平成11年1月1日現在のものです。

■FM放送について

FM放送は、普通のラジオ放送（AM）に比べて、よい音質で聞くことができるうえ、ステレオ受信もできます。しかし、FM電波の性質上、移動する車で受信するには以下の点をご了承ください。

1. FMの電波の直進性

FM電波は、AM電波に比べて周波数が高いため、光に似た性質をもっています。そのため建物や山に電波がさえぎられて、受信できない場合もできます。したがってFM電波の受信範囲は、AM電波に比べてかなり狭くなります。



2. フェードアウト

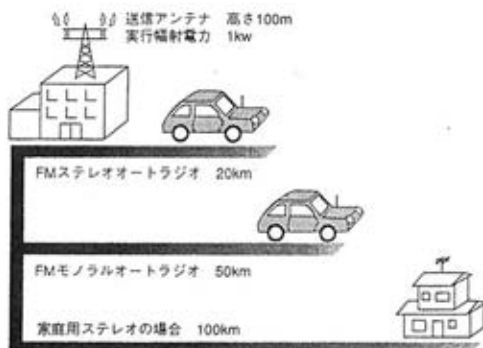
FM放送のように高い周波数の電波は、「物」に反射されやすいという性質をもっています。そのため建物やポール等の障害物の陰を車が通過すると、アンテナに十分な電波が入らなくなり、音が途切れて「シャツ、シャツ」というような雑音が生じる「フェードアウト」(消失)現象が起こることがあります。

3. FM放送のサービスエリア

家庭用ステレオでFM放送を受信する場合は、アンテナを高くしたり、高感度アンテナを使用できるため、電波が弱くても十分に聞くことができます。

しかし自動車ラジオの場合は、走りながら受信し、アンテナの形状や取り付け位置の制限、車のエンジン雑音の影響などもあって家庭用に比べて良聴地域は狭くなります。

電波を十分にキャッチするために、アンテナは全段のばしてお使いください。

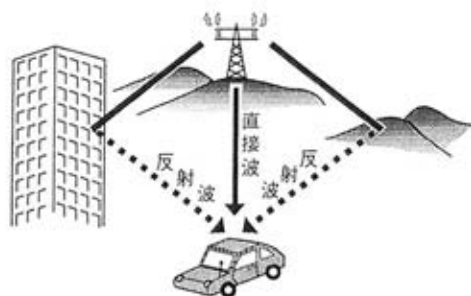


(図の聴取可能範囲は、障害のない平坦地の場合の一例であって、電力、地形等によって大きな差異があります。)

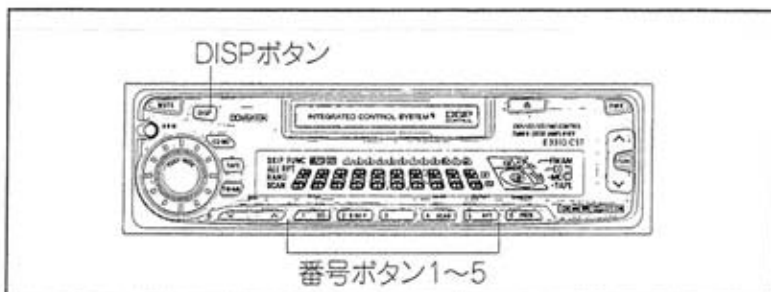
4. マルチパス

放送局の送信アンテナからの直接波と、建物や山にぶつかって反射した反射波を同時に受信すると、高音域で「ジュル、ジュル」という雑音がでたり、女性のアナウンスがハスキーになったりします。これを「マルチパス」(多重伝播)ひずみといいます。

このような現象は、2の「フェードアウト」と同様にFM放送のように高い周波数の電波特有の伝わりかたに起因しています。この現象が起こったときは、車を移動させてください。



◆時計部の操作



■時刻を合わせる

本機は、12時間表示になっています。真夜中はAM12:00、正午はPM12:00と表示されます。

1. [DISP]ボタンを押して、時計表示に切り換える
2. [DISP]ボタンを押しながら[番号ボタン 1]または[番号ボタン 2]を押す。

時間を調節します。[番号ボタン 1].....数字が減る
[番号ボタン 2].....数字が増える

3. [DISP]ボタンを押しながら、[番号ボタン 3]または[番号ボタン 4]を押す

分を調節します。 [番号ボタン 3].....数字が減る
[番号ボタン 4].....数字が増える

ワンポイント

00分00秒(正時)に時計を合わせたいときは、[DISP]ボタンを押しながら[番号ボタン 5]を押します。

例)

PM3:23→[DISP]ボタン+[番号ボタン 5]→PM3:00

PM3:32→[DISP]ボタン+[番号ボタン 5]→PM4:00

◆リモコンの操作

リモコンは別売になっています。販売店でお買い求めください。

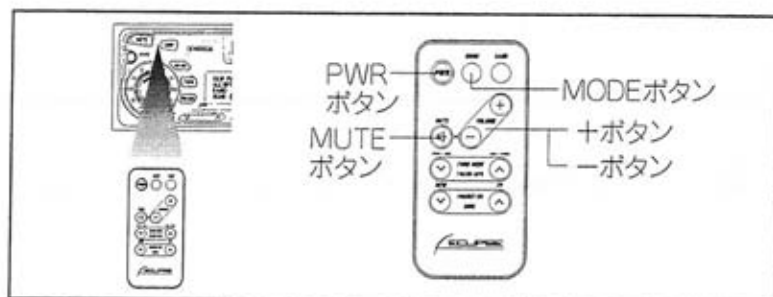
使用上の注意

- ・リモコンは小型で軽量なため取り扱いには注意してください。
落としたりぶついたりすると、破損したり、電池の消耗を早めたり、誤動作の原因になります。
- ・リモコンは湿気、ほこりを避け、ショックを加えたり、水などをかけたりしないでください。
- ・ダッシュボードなど直射日光のあたる場所には置かないでください。
- ・運転の妨げにならないようにご使用ください。

・欧州車等、一部ACCポジションの無い車両の場合はバッテリー上がりの原因となる場合があります。リモコンで電源を切ってもスタンバイ状態のままになります。完全に電源を切る場合は、必ず本体の[PWR]ボタンで電源を切るようにしてください。また、本体の電源が切れているときは、リモコンを使用することはできません。

清掃について

- ・リモコンのお手入れの際は、乾いた布（汚れがひどい場合は水を少しつけて強くしぼった布）でふいてください。ベンジン・シンナー類をしますと、ケースや塗装が変質しますので、絶対に使用しないでください。



■電源を入れる／切る

1. [PWR]ボタンを押す

押すたびに電源が入ったり、切れたりします。

■音量を調節する

1. [+]ボタンを押すと、音量が上がります。 [-]ボタンを押すと、音量が下がります。

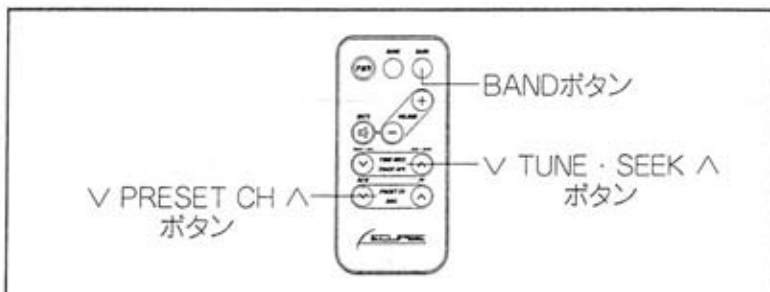
▼瞬時に音量を下げる(ミュート)

[MUTE]ボタンを押すと、瞬時に音量を下げたり、元に戻すことができます。

■機能を切り換える

1. [MODE]ボタンを押す

チューナー→カセット→ディスク→TV→チューナ(元に戻る)
の順に切り換わります。



■チューナ利用時の操作

▼FM/AMを切り換える

1. [BAND]ボタンを押す

FM1→FM2→AM1→AM2→FM1(元に戻る)の順に切り換わります。

▼放送局を選ぶ(自動・手動)

ボタンを軽く押すと手動で、長めに押すと自動で放送局を選べます。

1. [V TUNE・SEEK へ]ボタンを押す

へ.....周波数の高い方へ選局

▽.....周波数の低い方へ選局

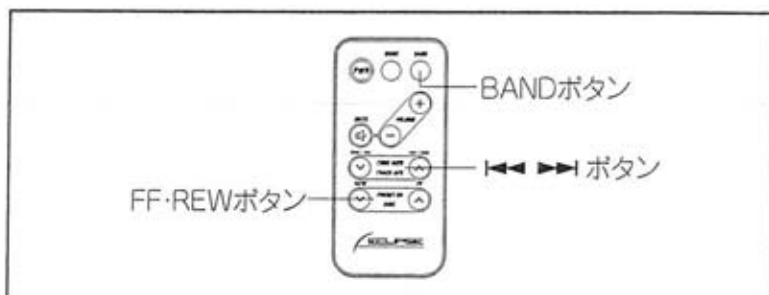
▼記憶済みの放送局を選ぶ

本体で記憶させた6つの放送局(プリセット選局)から呼び出します。(手動で放送局を記憶させる21ページ参照)

1. [V PRESET CH へ]ボタンを押す

へ.....プリセット番号の高い方へ選局

▽.....プリセット番号の低い方へ選局



■カセット利用時の操作

▼早送り/巻き戻しする

1. [FF·REW]ボタンを押す

FF.....早送り

REW.....巻き戻し

▼曲の冒頭まで早送りする

1. [H<< >>H]ボタンを押す

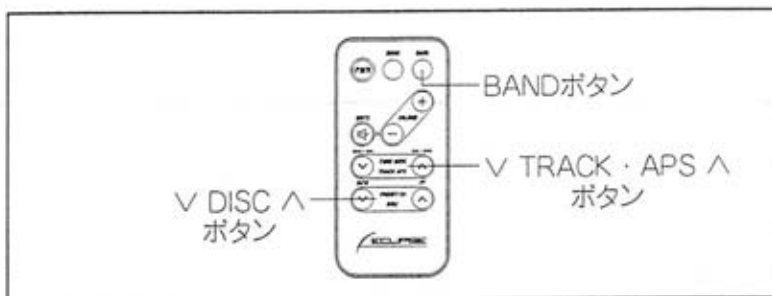
>>H.....次の曲の頭出し

H<<.....いま聞いている曲の頭出し

▼テープ走行を反転させる

1. [BAND]ボタンを押す

再生中に押すとテープ走行が反転します。



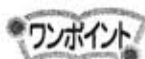
■MD、CD利用時の操作

▼次の曲に進む／曲の頭に戻る

1. [V TRACK・APS ^]ボタンを押す

^.....次の曲に進む

V.....演奏中の曲の頭に戻る



ボタンを押しつづけると、演奏中の曲の早送り(^方向)または早戻し(V方向)します。

▼次のディスクに進む／前のディスクに戻る

1. [V DISC ^]ボタンを押す

^.....No.が上のディスク(次のディスク)へ移動

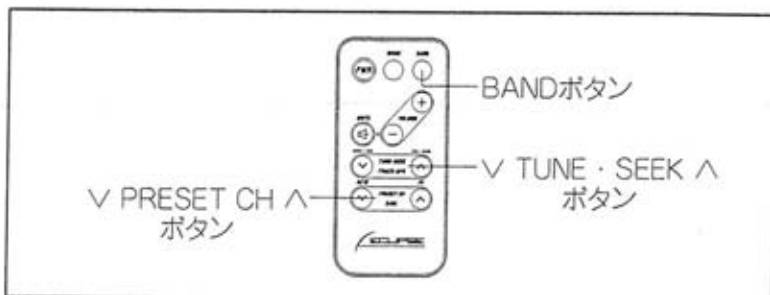
V.....No.が下のディスク(前のディスク)へ移動

▼ディスクモードを切り換える

1. [BAND]ボタンを押す

CDプレーヤー、CDオートチェンジャー、MDチェンジャーを組み合わせている場合はCDプレーヤー→CDオートチェンジャー1→CDオートチェンジャー2→MDチェンジャーの順に切り換わります。

ディスクが装てんされていない場合は、その機器を飛ばして選択されます。



■TV利用時の操作

▼チャンネルを選ぶ

1. [V TUNE · SEEK へ]ボタンを押す
へ.....数字が上のチャンネルへ選局
V.....数字が下のチャンネルを選局
[V PRESET CH へ]ボタンを使うと、プリセットしたチャンネルを選局できます。

▼バンドを切り換える

1. [BAND]ボタンを押す
TV1→TV2の順に切り換わります。

■電池を交換する



警告

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、CR2025 (1個) をご使用ください。

以下の手順で電池を交換します。

1. リモコン裏面にある引き出し口のロックを右に移動して解除したまま、つめをひっかけて電池ケースを引き出す



2. 電池を入れ替える

＋表示を上にして電池をセットしてください。



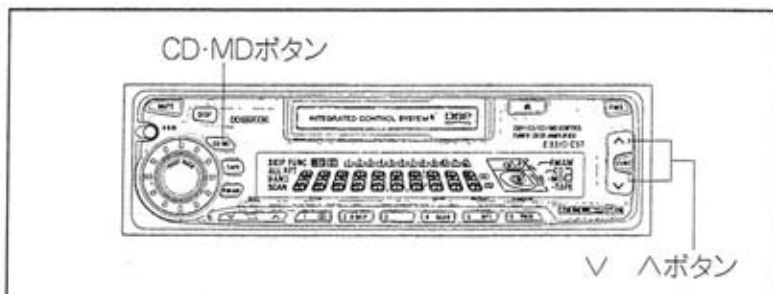
3. カチッと音がするまで引き出し口を差し込んで
電池ケースを開める



●注意●

誤って電池を飲み込むことのないよう、取り扱いには十分注意してください。

◆ (別売) CDオートチェンジャー (CDプレーヤ) を接続したときの操作



■ 基本操作

CDオートチェンジャー、CDプレーヤを接続したときの操作手順を説明します。

チューナから切り換えるときは[CD・MD]ボタンを押してください。

▼ MD/CDを切り換える

1. [CD・MD]ボタンを押す

CDプレーヤ→CDオートチェンジャー1→CDオートチェンジャー2→MDチェンジャーの順に切り換わります。

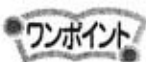
ディスクが装てんされていない場合は、その機器を飛ばして選択されます。

▼ 次の曲に進む/曲の頭に戻る

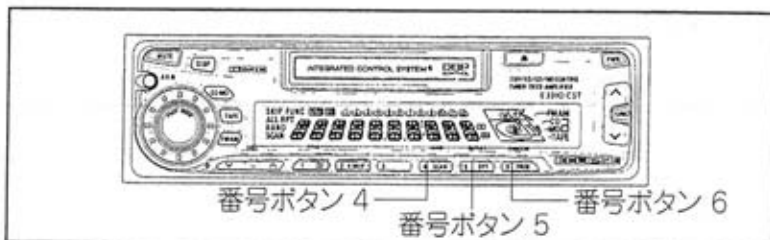
1. [V 入]ボタンを押す

入.....次の曲に進む

V.....演奏中の曲の頭に戻る



ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(入方向)または巻き戻し(V方向)します。



▼曲の冒頭を演奏する(スキャン)(SCAN)

1. [番号ボタン 4]を押す

演奏しているCD全曲の冒頭を10秒間ずつ演奏します。

「ALL SCAN」と表示されるまで押すと、装着している全CDの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

▼繰り返し演奏する(リピート)(REPEAT)

1. [番号ボタン 5]を押す

演奏中の曲を繰り返し再生します。

「ALL REPEAT」と表示されるまで押すと、演奏中のCD内の全曲を繰り返し再生します。

▼曲の順番を変えて演奏する(ランダム)(RANDOM)

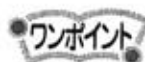
この機能を使用すると、CD内の曲を順不同に演奏させることができます。

1. [番号ボタン 6]を押す

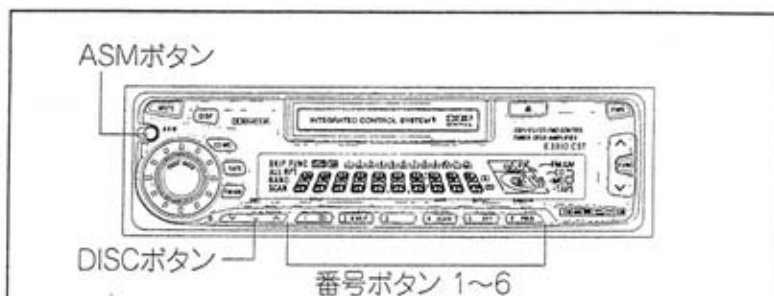
演奏中のCD内の曲を順不同に演奏します。

「ALL RANDOM」と表示されるまで押すと、装着している全CD内の曲を順不同に演奏します。

まれに同じ曲、同じディスクが続けて選択されますが、故障ではありません。



「曲の冒頭を演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部上部に「SCAN」、「RPT」、「RAND」、「ALL」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。



▼次のディスクに進む／前のディスクに戻る

1. [DISC]ボタンを押す

△.....CD No.が上のディスクへ移動

▽.....CD No.が下のディスクへ移動

▼演奏するディスクを指定する

装着しているディスクのうち、お聞きになりたいディスクをダイレクトに指定できます。

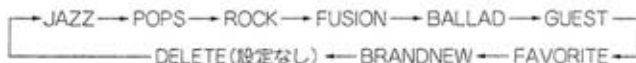
1. [ASM]ボタンを押す
2. [番号ボタン 1~6]のいずれかを押す

番号ボタン	1	2	3	4	5	6
ディスクNo.	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12

ディスクNo.7~12を指定するときは、番号ボタンを長めに押してください。

▼ディスクジャンルを設定する

1. [番号ボタン 1]を押してディスクジャンルを切り換える



■インフォメーションが点滅する (トラブルシューティング)

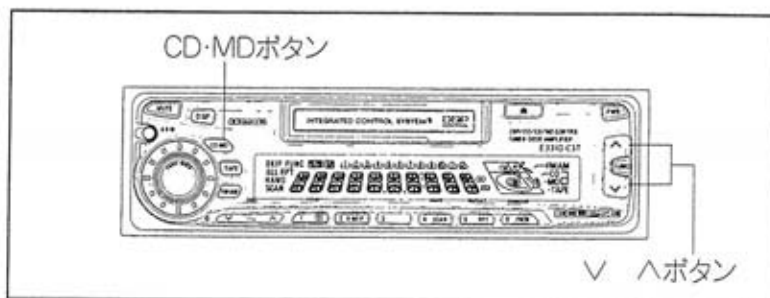
「INFO No.」が表示されたときは、下表を参考に対処してください。

インフォメーション	状 態	対 処
2	マガジンにディスクが入っていない	ディスクを入れてください。
3	ディスクの信号面に紙やシールが貼ってあったり、キズやホコリがある	ディスククリーナ等で中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。
4*	無録音のディスクが入っている	録音済みのディスクを入れてください。
5	オートチェンジャーのメカトラブル	・オートチェンジャーのイジェクトボタンを押して一度マガジンを出し、再度マガジンを挿入して再生してください。 ・イジェクトしてもマガジンが出ないときや再生できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
6	オートチェンジャーの内部が高温になった	しばらく待ち、温度が下がってから再生をはじめてください。 それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談下さい。

7	オートチェンジャーの内部電源が異常になっている	ACCを一度OFFにし、再度ONにしてから操作してください。それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
8*	ディスクの交換トラブルが発生している	ディスクが再度挿入するか、取り出してください。

*この内容は、MDのみ適用されます。
症状が改善できない場合は、機器の故障が考えられます。
お求めの販売店にお持ち込みください。

◆(別売)MDチェンジャーを接続したときの操作



■基本操作

MDチェンジャーを接続したときの操作手順を説明します。

チューナーから切り換えるときは[CD・MD]ボタンを押してください。

▼MD/CDを切り換える

1. [CD・MD]ボタンを押す

CDプレーヤー→CDオートチェンジャー1→CDオートチェンジャー2→MDチェンジャーの順に切り換わります。

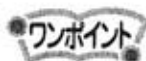
ディスクが装てんされていない場合は、その機器を飛ばして選択されます。

▼次の曲に進む／曲の頭に戻る

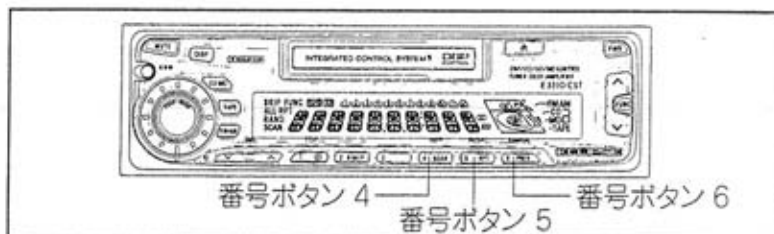
1. [V / へ]ボタンを押す

へ.....次の曲に進む

V.....演奏中の曲の頭に戻る



ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(へ方向)または早戻し(V方向)します。



▼曲の冒頭を演奏する(スキャン) (SCAN)

1. [番号ボタン 4]を押す

演奏しているMD全曲の冒頭を10秒間ずつ演奏します。

「ALL SCAN」と表示されるまで押すと、装着している全MDの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

ディスクが装てんされている場合は本機能は御使用になれません。

▼繰り返し演奏する(リピート) (REPEAT)

1. [番号ボタン 5]を押す

演奏中の曲を繰り返し再生します。

「ALL REPEAT」と表示されるまで押すと、演奏中のディスクを繰り返し再生します。

▼曲の順番を変えて演奏する(ランダム) (RANDOM)

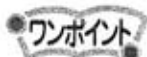
この機能を使用すると、演奏中ディスク内の曲を順不同に演奏させることができます。

1. [番号ボタン 6]を押す

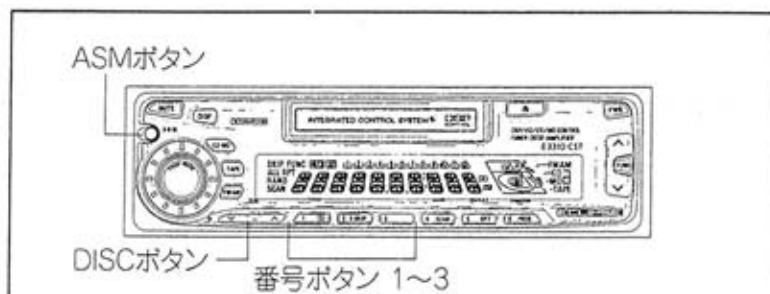
演奏中のMD内の曲を順不同に演奏します。

「ALL RANDOM」と表示されるまで押すと、装着している全MD内の曲を順不同に演奏します。

まれに同じ曲、同じディスクが続けて選択されますが、故障ではありません。



「曲の冒頭を演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部上部に「SCAN」、「RPT」、「RAND」、「ALL」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。



▼次のミニディスクに進む／前のミニディスクに戻る

1. [DISC]ボタンを押す

△.....MD No.が上のディスクへ移動

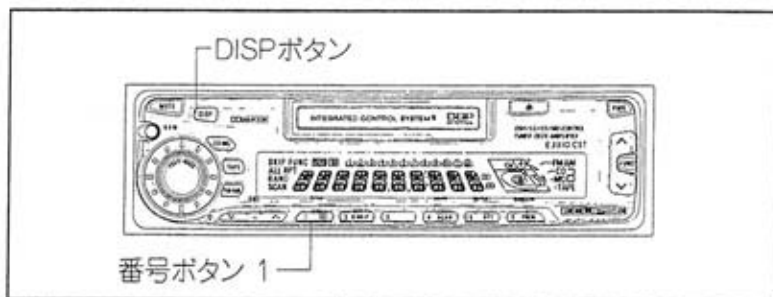
▽.....MD No.が下のディスクへ移動

▼演奏するミニディスクを指定する

装着しているミニディスクのうちお聞きになりたいディスクをダイレクトに指定できます。

1. [ASM]ボタンを押す
2. [番号ボタン 1~3]のいずれかを押す

番号ボタン	1	2	3
ディスクNo.	1	2	3



■タイトル名／曲名を表示する

MDにタイトル名や曲名などが記録されているときは、それらをスクロール表示することができます。表示可能な文字は、英、数、で合わせて32文字です。

1. [DISP]ボタンを押して、タイトル名または曲名が表示されるまで切り換える

[DISP]ボタンは、押すごとに
時計→タイトル→トラックNoと経過時間
と切り換わります。

2. [番号ボタン 1]を押す

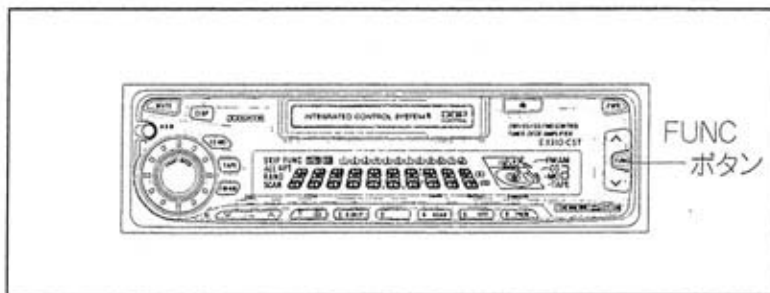
ボタンを押すたびに、ディスクタイトル表示スクロール→トラックタイトル表示スクロールの順に切り換わりトラックタイトルで固定されます。再度ボタンを押すと、ディスクタイトルから表示されます。

※インフォメーションについては、CDオートチェンジャーの頁を参照してください。(40、41ページ)

●注意●

ミニディスクにタイトルが記録されていないときや本機の表示部にMDのタイトルまたは曲名が表示されていないときは、この機能はご使用になれません。

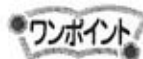
◆ (別売) DSP/EQを接続したときの操作



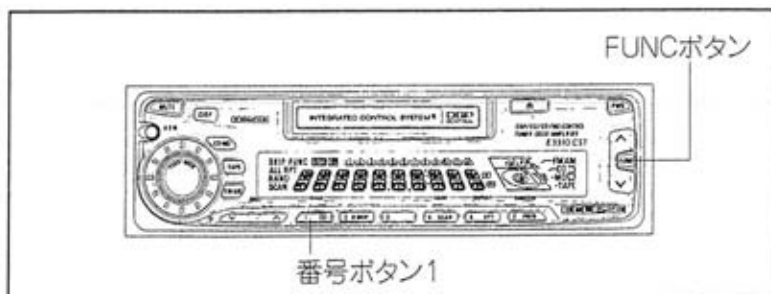
■ DSPの操作

DSPは、再生する音楽に残響音を付加し、擬似的に臨場感を再現することができます。

ここでの操作は、[FUNC]ボタンを押してファンクションモードに切り換えてから行ってください。ここでは、すでにファンクションモードになっていることを前提に説明します。



DSPがONになっているときは表示部上部に「DSP」と表示され、確認することができます。



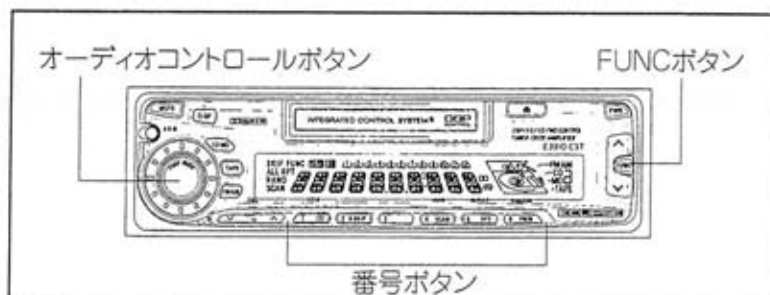
▼ルームサイズを切り換える

1. [番号ボタン1]を押してルームサイズを切り換える
5パターンのルームサイズが用意されています。次の順に切り換わります。
 1. CONCERT (コンサートホール)
 2. LIVE (ライブハウス)
 3. CATHEDRAL (残響音の多い教会)
 4. STADIUM (野外スタジアム)
 5. CULB (クラブ)
 6. DEFEAT (DSP OFF)
2. [FUNC]ボタンを押す

▼各モードの詳細を調整する

各ルームサイズのモードの詳細を調整します。

1. 詳細を変更したいルームサイズが表示されるまで[番号ボタン1]を押す
2. ルームサイズの表示が点滅するまで再度[番号ボタン1]を押す
DSP調整モードに切り換わります。



3. [オーディオコントロール]ボタンを押して調節するモードを選ぶ

モードは、次の順に切り換わります。

LR 000 dB	(残響音レベル)*
LR 000 S	(残響時間)*
ER 000 dB	(初期反射音レベル)
ER 000 ms	(初期反射時間)

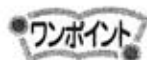
* 残響音レベル、残響時間は、CONCERTモード／CATHEDRAL モード時のみ調整可能です。

4. [オーディオコントロール]ボタンを左右に回す
レベルや時間を調整します。

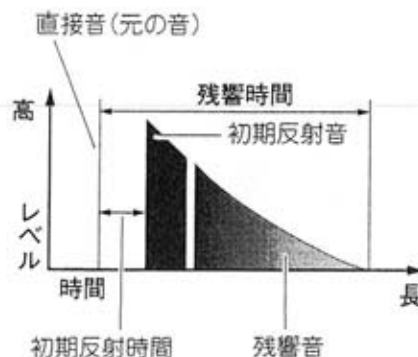
右に回す.....数値が増加

左に回す.....数値が減少

5. 「P1～6 MEMORY」と表示されるまで記憶させる
[番号ボタン](プリセットボタン)を押す
プリセットが書きかわります。
6. [FUNC]ボタンを押す(「DSP ADJUST」と表示されます)
調節モードが解除され、変更が有効になります。



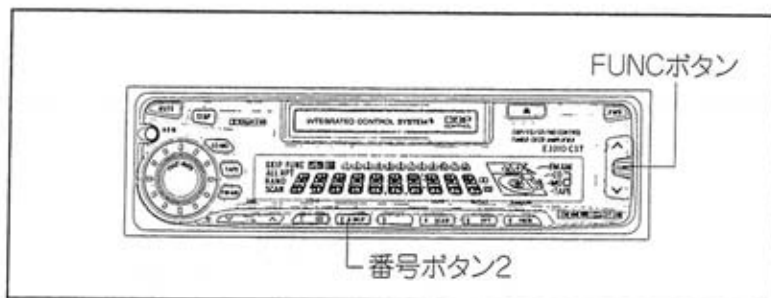
簡易調整については、15ページの「出力レベルを調整する」を参照してください。



▼記憶したパターンを呼び出す

プリセットボタンを押してあらかじめ記憶したルームサイズを呼び出します。ルームサイズを記憶した番号ボタンをプリセットボタンと呼びます。

1. ルームサイズが点滅表示されるまで[番号ボタン1]を押す
2. 任意の[番号ボタン]を押してルームサイズを選択する
3. [FUNC]ボタンを押す(「DSP ADJUST」と表示されます)
選択したルームサイズが有効になります。



■EQの操作

EQは、再生する音楽のジャンルや楽器に合わせて周波数を調整し、最適な状態で音楽を楽しむことができます。

ここでの操作は、[FUNC]ボタンを押してファンクションモードに切り換えてから行ってください。ここでは、すでにファンクションモードになっていることを前提に説明します。

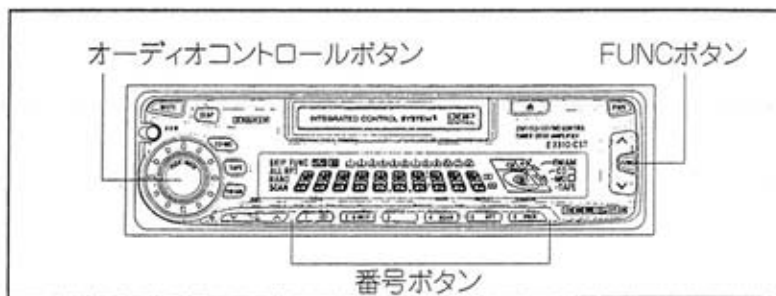
ワンポイント

EQがONになっているときは表示部上部に「EQ」と表示され、確認することができます。

▼イコライザを切り換える

1. [番号ボタン2]を押してイコライザモードを切り換える
6パターンのイコライザモードが用意されています。次の順に切り換わります。

- 1.POPS(ポップス)
- 2.ROCK(ロック)
- 3.JAZZ(ジャズ)
- 4.CLASSIC(クラシック)
- 5.VOCAL(ボーカル)
- 6.NEWS(ニュース)
- 7.DEFEAT(EQ OFF)

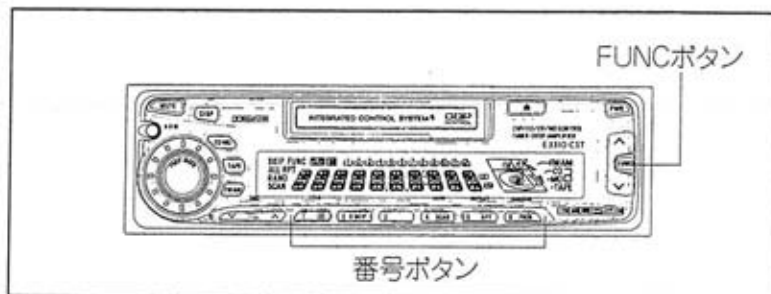


2. [FUNC] ボタンを押す

▼各モードの詳細を調整する

各イコライザモードの詳細を調整します。

1. 詳細を変更したいイコライザモードが表示されるまで
[番号ボタン2]を押す
2. イコライザモードの表示が点滅するまで再度[番号ボタン2]を押す
EQ調整モードに切り換わります。
3. [オーディオコントロール] ボタンを押して周波数を切り換える
周波数は、次の順に切り換わります。
63Hz→125Hz→250Hz→500Hz→1KHz→4KHz→12KHz
4. [オーディオコントロール] ボタンを左右に回す
レベルを調整します。
右に回す.....数値が増加
左に回す.....数値が減少
5. [P1～6 MEMORY]と表示されるまでを記憶させる[番号ボタン](プリセットボタン)を押す
プリセットが書きかわります。
6. [FUNC] ボタンを押す(「EQ ADJUST」と表示されます)
調節モードが解除され、変更が有効になります。



簡易調整については、15ページの「出力レベルを調整する」を参照してください。

▼記憶したイコライザモードを呼び出す

プリセットボタンを押してあらかじめ記憶したイコライザモードを呼び出します。イコライザモードを記憶した番号ボタンをプリセットボタンと呼びます。

1. イコライザモードが点滅表示されるまで[番号ボタン2]を押す
2. 任意の[番号ボタン]を押してイコライザモードを選択する
3. [FUNC]ボタンを押す(「EQ ADJUST」と表示されます) 選択したイコライザモードが有効になります。

◆困ったときは

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ
共 通	音が出ない。 音が小さい。	音量が下がっていませんか。	音量を上げて下さい。	12
		ミュート(MUTE)が働いていませんか。	ミュート(MUTE)を解除して下さい。	12
		フェダーやバランスが片寄った設定になっていませんか。	フェダー、バランスを適正な位置に調整して下さい。	15
		その他、音声信号配線の断線、スピーカの故障などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行って下さい。	
	電源が入らない。	一度にたくさんの電装品を取付されて電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行って下さい。	
		その他、お車のバッテリーの消耗、電源、通信配線の断線、などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行って下さい。	
	メモリした周波数やタイトルが消えてしまう。	お車の定期点検などでバッテリーを外されたことはありませんか。	もう一度メモリ直して下さい。	21 22
		一度にたくさんの電装品を取付されて電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行って下さい。	
		その他、お車のバッテリーの消耗、電源、通信配線の断線、などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行って下さい。	
	ガイドトーンが出ない。	ガイドトーンの設定が切られていますか。	ガイドトーンの設定をし直して下さい。	13
	リモコン操作ができない。	電池が消耗していませんか。	電池を交換して下さい。	35
		電池の向きが+-逆になっていませんか。	正しい向きにセットし直して下さい。	35
		リモコン受光部に直射日光が当たっていませんか。	リモコン受光部にリモコンを近づけてご使用下さい。	30
		その他、リモコンの故障が考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行って下さい。	

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ
テープ	音が小さい。音質が悪い。	ヘッドがよごれていませんか。	クリーニングテープを使用してヘッドを清掃して下さい。	7
		録音レベルは適正ですか。	適正なレベルで録音し直して下さい。	
		その他、録音に使用された機器の調子が悪い、録音ソース(CD、テープなど)の音質やトラブルなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行って下さい。	
	回転にムラがある。テープを巻き込む。	テープにシワや伸びがありませんか。また、120分テープなど長時間タイプのテープを使用されていませんか。	他のテープに入れ替えてみて下さい。劣化したテープや、長時間タイプのテープはご使用にならないで下さい。	8
	テープが入らない。排出できない。	テープのラベルがはがれかかっていますか。	テープのラベルを整えて下さい。	8
		テープに変形や破損箇所はありませんか。	他のテープに入れ替えてみて下さい。変形や破損したテープは、ご使用にならないで下さい。	
ラジオ	放送を受信できない。雑音が入る。	アンテナが収納状態ではありませんか。	アンテナを伸ばして下さい。	
		周波数は正しくセットされていますか。	周波数を正しくセットし直して下さい。	21 22
		旅行などで、放送サービスエリアを外れていませんか。	旅行先の地域の放送周波数にセットし直して下さい。(放送サービスの無い地域も有りますのでご注意下さい)	24
		コンピュータを搭載した機器や携帯電話などを使用されていませんか。(高周波を使用する機器は電波障害を引き起こす可能性があります)	機器のご使用はできる限り避けて下さい。	
		その他、アンテナの劣化やアンテナ配線の断線などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行って下さい。	

◆仕様について

本機の仕様は、次のようになっています。

チューナ部・FM

受信周波数	76.0~90.0MHz
実用感度	12dBf (S/N30dB)
周波数特性	30~15,000Hz
ステレオセパレーション	38dB

チューナ部・AM

受信周波数	522~1,629kHz
実用感度	22 μ V (S/N20dB)

カセットデッキ部

使用テープ	コンパクトカセットテープ 最大90分 (C-90)
再生方式	オートリバース4トラック 2チャンネル
再生ヘッド	ハードパーマロイ
テープ速度	4.76/秒 (早送り・巻き戻し約90秒/C-60)
ワウ・フラッタ	0.09% (WRMS)
周波数特性	30~18,000Hz (ノーマルテープ)
S/N (IHF-A)	ノーマルテープ 55dB
	ドルビー (B) NR ON時64dB
クロストーク	50dB
チャンネルセパレーション	45dB

共通部

トーンコントロール	BASS ± 10 dB (100Hz) TREBLE ± 10 dB (10kHz)
ラウドネス	100Hz: +9dB / 10kHz: +5dB
最大出力	40W $\times$ 4
適合負荷インピーダンス	4 Ω (各チャンネル)
出力レベル (LINE OUT)	300mV / 10K Ω 以下
電源電圧	DC 13.2V (11~16V), $\ominus$ アース専用
消費電流	約2.5A (1W $\times$ 4出力時), 約9A (最大)
寸法	178mm (幅) $\times$ 50mm (高さ) $\times$ 155mm (奥行)
重量	1.3kg

●注意●

部品定数および回路は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

◆アフターサービスについて

1. この商品には保証書を添付しております。
保証書は販売店でお受けとりの際、必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
2. 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
3. 調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前にこの取扱説明書を、もう一度よくご覧のうえ調べてください。簡単な調整やお手入れで直ることがあります。それでも具合が悪いときは、次により修理をお申しつけください。
 - ◆修理の受け付けは、お求めの販売店が行います。
 - ◆保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持ち込みください。
保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。
※修理、点検に要する商品の脱着費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。
 - ◆保証期間が過ぎているときは、お客様のご希望によりまして、有料で修理をお引き受けいたしますのでお求めの販売店にお持ち込みください。
4. 出張による修理、点検は行っておりません。
5. この商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

商品に関するお問い合わせ先

〈修理に関するお問い合わせについては、お求めの販売店または最寄りの下記販売会社へ〉

※修理のご依頼は、お求めの販売店へお願いいたします。

富士通テン北海道㈱	〒003-0809 札幌市白石区美水9条2丁目1番地	(011) 821-2221	北海道全域
富士通テン東日本㈱	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目14番24号 (西新宿KFビル)	(03) 5330-6244	東京、神奈川、千葉、 甲信越地区
北関東支店	〒329-0201 栃木県小山市大字梨宮1851番地1	(0285) 22-6410	栃木、埼玉、群馬、茨城
仙台支店	〒983-0841 仙台市宮城野区原町2丁目3番48号 (イフイビル)	(022) 256-2291	東北地区
富士通テン中部㈱	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号	(052) 581-8621	愛知、岐阜、三重
北陸支店	〒920-0918 金沢市尾山町1番8号 (朝日生命金沢ビル)	(0762) 22-0185	福井、石川、富山
静岡営業所	〒422-8067 静岡市南町18番1号 (サウスポット静岡13階)	(054) 203-0090	静岡
富士通テン関西㈱	〒658-0046 神戸市東灘区御影本町6丁目2番21号	(078) 811-2451	兵庫
大阪支店	〒571-0064 大阪府門真市御堂町3番23号	(06) 6902-8414	大阪、京都、滋賀、奈良、 和歌山
広島支店	〒734-0044 広島市南区西露町2番25号	(082) 255-2422	中国地区
高松営業所	〒760-0034 高松市内町1番13号 (日新内町ビル)	(0878) 22-1411	四国地区
富士通テン西日本㈱	〒812-0032 福岡市南区塩原2丁目7番7号	(092) 511-3210	福岡、佐賀、長崎、熊本、 大分、沖縄
鹿児島営業所	〒890-0053 鹿児島市中央町16番10号 (スカイビル)	(099) 250-4737	鹿児島、宮崎

〈商品の機能・操作等に関するお問い合わせはお求めの販売店または下記「お客様相談窓口」へ〉
【お客様相談窓口】

富士通テン北海道㈱	(011) 821-2221	北海道全域
富士通テン東日本㈱	(03) 3366-3833	東北、関東、甲信越地区
富士通テン中部㈱	(052) 581-8726	中部、北陸地区
富士通テン関西㈱	(078) 811-2451	近畿、中国、四国地区
富士通テン西日本㈱	(092) 511-3252	九州全域、沖縄
富士通テン㈱本社	0120-022210	

受付時間：午前10:00～12:00 午後1:00～5:00
(土・日・祝日などを除く)

富士通テン株式会社

所在地 〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
電話 神戸(078)671-5081(代表)

090002-23740700
9910MT (N)